

「仙台版防災教育副読本を活用した指導事例」

<p>学校名 [仙台市立七郷中学校]</p> <p>[中] 学校 [29] 年版 単元名 [心に寄り添う] P54～55</p> <p>教科・領域名 [道徳] [時間 50分]</p>	
<p>主な学習活動 (実際に行った活動)</p>	<p>指導の実際</p>
<p>【ねらい】 神戸市をはじめとする全国各地から寄せられた震災後の支援の姿を理解するとともに、心に寄り添う復興や支援の在り方を考える。</p> <p>内容項目：公德心</p> <p>【授業の流れ】</p> <p>1 (導入) 震災後、私たちに寄せられた支援を振り返る。</p>  <p>2 (展開) 資料(副読本 P54, 55)を読み、兵庫県警から派遣された「のじぎく隊」の活動を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>派遣された主人公(西村さん)はなぜ派遣されたのでしょうか。</p> </div> <p>3 被災した男性の気持ちを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>①あなたがこの男性だったとしたら、主人公(西村さん)に対して、どのような気持ちをいだいたと思いますか。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>②あなたがこの男性だったとしたら、話を伝えた後、どのような気持ちになったと思いますか。</p> </div> <p>4 主人公の思いを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>①あなたが主人公の西村さんだったとしたら、男性の話を聴いて、どのように思いますか。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>②他都市の復興のために活動を続ける主人公(西村さん)の姿をあなたはどのように思いますか。</p> </div> <p>5 (終末) 心の復興・支援について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>①なぜ心の支援が大切なのでしょう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>②あなたが考える心の復興・支援とはどういうものだろうか。</p> </div> <p>※ 学校地域合同防災訓練の日に、 全校道徳(全クラス同時間・同内容)で実施。</p>	<p>【準備物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災副読本、ワークシート <p>【生徒のワークシートから】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○私たちに寄せられた支援を振り返る <ul style="list-style-type: none"> ・食品や生活用品などが多く寄せられた。 ○西村さんはなぜ派遣されたのか <ul style="list-style-type: none"> ・宮城県警や近くの県の県警だけでは「心の支援」まで気を配れなかったから。 ○被災した男性の気持ちを考える <ul style="list-style-type: none"> ・話を聞いてもらい、少し前向きになれた。 ○主人公の思いを考える <ul style="list-style-type: none"> ・男性の本当の気持ちに気付かなかったことへの申し訳なさ、自分に話して感謝してくれたことへの嬉しさ。 ・男性のために何をしてあげられるか考える。 ○心の復興・支援について考える <ul style="list-style-type: none"> ・隠れている気持ちに気づき、それに対してこたえていくこと。 ・傷ついてしまった被災者の心に前向きに生きようとする力や気力を取り戻すもの。  <p>【生徒の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興や支援の私のイメージは、形だけのものでしたが、形を復元している裏で心のケアをしている人を忘れずにいたい。この授業から、普通にやるあたりまえのことが、どれだけ重要なのかを知ることができました。 ・今日は、復興のために私たちに何ができるのか考えました。「心から復興を祈る」「今あることを一生懸命にする」ことが復興への第一歩だということを感じました。今私たちにできることをしていきたいです。